

製品・ソリューション ガイド



CoatureVietnam提供のサービスイメージ画像。



360° Coating Value

7つのコアサービスで、塗装の課題を解決します。

塗料・溶剤から設備、工程の可視化、企業間のつながりまで。お客様の条件に応じて、必要な製品と支援を組み合わせます。

課題から探す。条件を共有する。解決策を組み合わせる。
具体的なご相談には、掲載番号をお知らせください。

- 01 Paint Voyager
- 02 Paint Optimizer
- 03 Color Balue
- 04 Thinner Streamer

- 05 Coat Systemizer
- 06 Coat Visioner
- 07 Coat Linker

READ FIRST / ご利用ガイド

ご利用ガイド

CoatureVietnamにご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。本資料は、塗装分野の製品・設備・サービスについて、ご相談内容を探すためのガイドです。

課題から適切なサービスへ

腐食、外観、色、乾燥、作業量、設備管理などの課題から、該当するサービスをご覧ください。3ページに7つのサービス、4-5ページに目次を掲載しています。

掲載番号でご相談

掲載番号はCoatureVietnamへのお問合せにご利用いただけます。複数の製品・仕様を含む項目や、設計・支援の相談項目もあります。具体的な条件を伺い、候補を提案します。

製品と工程を組み合わせる

当社が選定し、組み合わせて提案する製品・設備・支援を掲載しています。塗料に加え、溶剤、塗装機器、乾燥、計測との適合性も確認します。

仕様・供給条件について

本資料は選定・相談のためのガイドです。供給可否、最新仕様、価格、納期、保証、据付・保守の範囲は個別に確認します。すべての項目が標準品や常備在庫品ではありません。

性能と規格適合は、仕様と使用条件に応じて確認します。必要に応じて技術資料、見本、実部品での評価を確認し、導入条件を相談します。

掲載製品のすべてをCoatureVietnamが製造していることを示すものではありません。当社は、お客様の条件に合う選定、組合せ、提案、導入支援を担います。

SERVICE MAP / ご相談の出発点

7つのコアサービス

塗装の課題を、材料、工程、設備、情報、企業連携から検討します。必要なサービスの組合せをご相談いただけます。



01 Paint Voyager

1-001 - 1-076

課題に合う塗料・前処理剤を選ぶ

防食、耐熱、高機能、粉体、EV絶縁、規格指定、前処理



02 Paint Optimizer

2-001 - 2-026

自社ブランド塗料を用途に合わせて選ぶ

液体塗料、プライマー、Paint Optimizer Powder



03 Color Balue

3-001 - 3-009

色と仕上がり、焼付条件を整える

C BALUEシリーズ、見本・実部品での評価、再現性の確認



04 Thinner Streamer

4-001 - 4-018

溶剤と塗装・洗浄条件を合わせる

関連シンナー、希釈・乾燥調整、用途別クリーナー



05 Coat Systemizer

5-001 - 5-152

塗装設備・機器と工程を組み立てる

前処理、塗装、UV硬化、搬送、乾燥、空気源、保守



06 Coat Visioner

6-001 - 6-011

工程・設備の状態を見える化する

計測、記録、通知、データ活用・関連システム



07 Coat Linker

7-001 - 7-006

日本とベトナムの塗装企業をつなぐ

要件共有、候補企業との接点づくり、試作・協業の相談

CoatureVietnam提供のサービスイメージ画像。

掲載番号から具体的なご相談へ

製品、製品群、サービスの298項目を掲載しています。番号はサービス番号と3桁の連番で構成されます。例：2-001はPaint OptimizerのC TOPです。1項目が複数仕様を含むことがあり、298は個別品番の総数ではありません。

8つの課題カテゴリは1-C01から1-C08、課題別相談テーマはA-001からA-009です。18ページにPaint OptimizerとColor Balueの自社ブランド塗料をサービス別に掲載しています。

CONTENTS / サービス別

目次 1 / 2

項目名をクリックすると該当ページへ移動します。

01 Paint Voyager

課題から探す8カテゴリー	06
防食・規格指定への対応	07
粉体・高機能・工業用塗料	09
金属・樹脂部品用機能性塗料	11
耐熱・熱制御・潤滑・低反射	13
EV部品用絶縁コーティング	15
前処理・化成処理薬剤	16
亜鉛めっき補修・防錆	17

02 Paint Optimizer / 03 Color Balue

自社ブランド塗料	18
----------	----

02 Paint Optimizer

Paint Optimizer Powder・基本分類	19
Paint Optimizer Powder・機能と意匠	20

03 Color Balue

C BALUEシリーズ・選定支援	21
------------------	----

04 Thinner Streamer

自社ブランド関連溶剤・相談	22
用途別溶剤・洗浄剤	23

CONTENTS / サービス別

目次 2 / 2

項目名をクリックすると該当ページへ移動します。

05 Coat Systemizer

前処理・塗装・搬送・乾燥	25
樹脂塗装・UV硬化	26
付帯設備・制御・保守	27
湿式ベンチュリーブース・標準形	28
湿式ブース・構成の選択肢	29
コンプレッサー・スクロールとレシプロ	30
コンプレッサー・スクリーューと空気処理	31
静電粉体塗装・粉体供給	32
液体塗装ガン・静電塗装装置	34
塗料供給・調圧・混合	36
スプレーガン・静電塗装の選択肢	38
塗料供給機器・補助機器・部品	39
自動化・関連ユーティリティ	40
給気・排気フィルター	41
循環水・工程管理	42
自動車・大型車用塗装ブース	43

06 Coat Visioner

可視化・データ活用	44
-----------	----

07 Coat Linker

日本・ベトナムの塗装企業をつなぐ	45
------------------	----

SUPPORT / ご相談

課題に応じたソリューションの組合せ	46
ご相談から導入まで	48
資料情報・改訂履歴	49



サービスイメージ

01 Paint Voyager

課題から探す8カテゴリー

機能・用途・工程から塗料と前処理剤を選定します。課題に合うソリューションを提案するため、必要なコアサービスを組み合わせます。

番号	課題カテゴリー	ご相談いただける内容
1-C01	(1) 重防食コーティングシステム	鋼構造物・設備の防食、めっき補修。素材と使用環境に合わせて塗装系を検討します。
1-C02	(2) 超高耐熱コーティング	高温環境への対応と熱制御。温度帯と加熱条件に合わせて仕様を選定します。
1-C03	(3) ふっ素樹脂・高機能コーティング	耐候性、潤滑、耐摩耗、特殊機能。素材と必要な機能から候補を絞り込みます。
1-C04	(4) 粉体塗装ラインの最適化	粉体塗料、色替え、供給・回収、硬化。Paint Optimizer PowderとCoat Systemizerを組み合わせます。
1-C05	(5) EV部品の絶縁・コーティング	バスバー・モーターの絶縁。形状、膜厚、熱条件、加工条件から検討します。
1-C06	(6) JIS指定に対応するライン塗装	指定規格に応じた塗料と施工仕様。対象製品と規格への適合範囲を確認します。
1-C07	(7) 前処理・化成処理	密着、防食、りんフリー化。薬剤、前処理設備、浴管理を組み合わせます。
1-C08	(8) 工程改善のための溶剤・洗浄剤	希釈、乾燥調整、脱脂、洗浄。具体的な製品・相談内容はThinner Streamerをご覧ください。

ご相談にあたって

カテゴリー名は相談の出発点です。耐熱温度、規格適合、素材への適用は、製品・仕様・使用条件ごとに確認します。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

防食・規格指定への対応

鋼構造物、設備、補修、規格指定塗料の候補です。使用環境に応じて、素地調整から上塗りまでの塗装系全体を確認します。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-001	鉛・クロムフリーさび止めペイント	JIS K 5674 1種の要求に対する候補。色、仕様、適合範囲、荷姿を確認します。
1-002	エッチングプライマー	JIS K 5633 2種の要求に対する候補。素材、上塗り、適合範囲を確認します。
1-003	ジンクリッチプライマー・厚膜形ジンクリッチ塗料	用途に応じて無機系・有機系、標準形・厚膜形を選定し、素地調整と上塗りを確認します。
1-004	変性エポキシ樹脂系防食塗料	構造物・補修用途に応じた防食性能と塗り重ね条件を確認します。
1-005	エポキシ樹脂塗料・厚膜形エポキシ樹脂塗料	下塗り・上塗りの役割、膜厚、使用環境に応じて塗装系を確認します。
1-006	タンク用・アルミ顔料含有・超厚膜形・上水道施設用エポキシ塗料群	タンク、厚膜防食、上水道用途ごとに選定します。上水道用途は規格と適合範囲を確認します。

ご相談にあたって

規格指定がある場合は、規格、仕様、色、必要な証明資料をお知らせください。塗料の規格適合とライン全体の認証は異なります。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

防食・規格指定への対応

鋼構造物、設備、補修、規格指定塗料の候補です。使用環境に応じて、素地調整から上塗りまでの塗装系全体を確認します。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-007	重防食用ポリウレタン樹脂上塗り塗料	屋外環境、下塗り、膜厚を確認します。規格指定がある場合は対象仕様を照合します。
1-008	高耐候性ふっ素樹脂上塗り塗料	耐候性、標準形・厚膜形、現場施工条件、下塗りとの組合せを確認します。
1-009	保温材下腐食（CUI）対策用耐熱防食塗料	連続使用温度、熱サイクル、保温材、設備条件を確認します。
1-010	ステンレス鋼の応力腐食割れ抑制用塗料	ステンレス鋼種、腐食環境、設備温度、塗装条件を確認します。
1-011	水系防食塗装システム	素地処理から上塗りまでの塗装系と、水系塗料に適した施工条件を確認します。
1-012	鋼管内面用ガラスフレーク塗料・コンクリート構造物用防食システム	設備、接触薬品、素材、施工条件に応じて選定します。

ご相談にあたって

規格指定がある場合は、規格、仕様、色、必要な証明資料をお知らせください。塗料の規格適合とライン全体の認証は異なります。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

粉体・高機能・工業用塗料

粉体塗料、金属建材・工業部品用塗料を、樹脂系、仕上がり、硬化条件から検討します。素材と必要性能から候補を絞り込みます。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-013	エポキシ樹脂系粉体塗料	主に屋内・防食用途を検討します。低温硬化形は実部品の焼付条件を確認します。
1-014	エポキシ・ポリエステル系粉体塗料	主に屋内用途を検討し、光沢、外観、焼付条件から選定します。
1-015	ポリエステル樹脂系粉体塗料	屋外耐候性、PCM用途、硬化方式を仕様ごとに確認します。
1-016	薄膜意匠・表面効果粉体塗料	薄膜性と各種模様を見本板で評価し、回収粉の使用条件も確認します。
1-017	ふっ素樹脂系粉体塗料	二層分離形やメタリックを含め、外観、耐候性、焼付条件を確認します。

ご相談にあたって

焼付温度と使用時の耐熱温度は異なります。同一分類でも仕様が異なるため、塗料・溶剤・硬化工程の組合せを確認します。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

粉体・高機能・工業用塗料

粉体塗料、金属建材・工業部品用塗料を、樹脂系、仕上がり、硬化条件から検討します。素材と必要性能から候補を絞り込みます。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-018	ふっ素樹脂焼付塗料・PVDF焼付塗料	樹脂系と硬化条件が異なるため、外装金属部材の要求に応じて選定します。
1-019	金属建材用焼付塗料	素材、外観、焼付条件に応じてウレタン系・アクリル系を検討します。
1-020	有機・無機ハイブリッドセラミック塗料	素材、必要硬度、耐候性、硬化条件を確認します。
1-021	工業用水系ウレタン・水系エポキシ塗料	水系化に際して乾燥条件、塗膜性能、設備適合性を評価します。
1-022	工業用アクリル・メラミン焼付塗料	樹脂系、硬化温度、外観、被塗物に応じて選定します。
1-023	工業用2液ウレタン塗料	配合比、可使時間、下塗りの要否、塗装条件を確認します。
1-024	工業用防食・密着向上プライマー	素材、前処理、上塗りとの密着性を確認します。

ご相談にあたって

焼付温度と使用時の耐熱温度は異なります。同一分類でも仕様が異なるため、塗料・溶剤・硬化工程の組合せを確認します。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

金属・樹脂部品用機能性塗料

樹脂・金属部品の外観、耐擦傷、潤滑要求に対する候補です。実部品と工程条件に基づいて評価します。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-025	有機・無機ハイブリッドハードコート塗料	耐擦傷・耐摩耗要求に対して、素材、硬化剤、専用希釈剤を確認します。
1-026	プラスチック用アクリル塗料	PP、ABSなどの樹脂種と塗膜要求を確認して選定します。
1-027	プラスチック用2液アクリルウレタン塗料	低温硬化形を含め、素材、生産条件、硬化剤を仕様ごとに確認します。
1-028	2液アクリルシリコン塗料	樹脂・金属部品の耐薬品性、耐摩耗性要求に応じて評価します。
1-029	金属用メラミン・アクリル・ポリエステル・ウレタン塗料	樹脂系と硬化方式を区別し、金属部品の使用条件に応じて選定します。
1-030	金属用エポキシ・ポリエステルプライマー	マグネシウム、アルミ、ステンレスなどの素材および上塗りとの適合性を確認します。

ご相談にあたって

同じ分類でも適用素材と機能は仕様によって異なります。必要性能、見本、現行工程をお知らせください。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

金属・樹脂部品用機能性塗料

樹脂・金属部品の外観、耐擦傷、潤滑要求に対する候補です。実部品と工程条件に基づいて評価します。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-031	乾性潤滑塗料・水系潤滑塗料	潤滑性、素材、水系・溶剤系の適用性を確認します。特定成分の不使用要求は仕様ごとに照合します。
1-032	ゴム・軟質素材用弾性コーティング	ゴム種、添加剤、変形・伸長条件に応じて適合性を評価します。
1-033	導電・帯電防止塗料	必要な抵抗値と塗装条件を確認します。絶縁塗料とは用途が異なります。
1-034	自己修復塗料・UV硬化機能性塗料	自己修復とUV硬化は異なる機能です。印刷、真空蒸着、UV照射の工程条件を確認します。
1-035	ミラー・メタリック・ソフトフィール塗料	鏡面、金属感、触感を見本板で評価し、必要な外観をすり合わせます。
1-036	金属用水系塗料・バイオマス原料使用塗料・高耐候性塗料	水系化、原料、耐候性の目的を区別し、仕様と供給可否を個別に確認します。

ご相談にあたって

同じ分類でも適用素材と機能は仕様によって異なります。必要性能、見本、現行工程をお知らせください。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

耐熱・熱制御・潤滑・低反射

高耐熱から放熱、潤滑、低反射まで、機能から検討します。耐熱・放熱・断熱・放射は目的ごとに選定します。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-037	耐熱塗料・耐熱ハードコート・耐熱絶縁塗料	耐熱、硬度、絶縁の要求に応じて選定し、実部品の温度と条件を評価します。
1-038	放熱塗料	参考温度帯：200℃以下、400-600℃、600-1000℃。 適用上限と条件を仕様ごとに確認します。
1-039	シルバー耐熱塗料	使用温度、素材、外観、下塗り、施工条件を確認します。
1-040	耐熱システム用下塗り・上塗り塗料	参考使用温度：200-500℃。下塗りと上塗りの組合せを確認します。
1-041	耐熱防食塗料	使用温度、腐食環境、素地調整、塗り重ね条件を確認します。
1-042	セラミック系機能性塗料	耐熱等級、硬化方法、塗り重ね条件を仕様ごとに確認します。

ご相談にあたって

適用温度は連続・断続加熱、環境、素材、膜厚によって変わります。記載機能だけで使用条件への適合を保証するものではありません。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

耐熱・熱制御・潤滑・低反射

高耐熱から放熱、潤滑、低反射まで、機能から検討します。耐熱・放熱・断熱・放射は目的ごとに選定します。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-043	非粘着・潤滑用ふっ素樹脂塗料	水系・溶剤系、塗装回数、必要機能を確認します。調理器具用途は適用条件を個別に確認します。
1-044	耐熱・耐摩耗・焼付き防止用潤滑塗料	使用温度、摩耗、焼付き、対象部品に応じて仕様を選定します。
1-045	低摩擦・非粘着機能性コーティング	低摩擦・非粘着の要求、部品、潤滑成分、施工条件を確認します。
1-046	センサー・カメラ用低反射塗料	カメラ・センサー部品、光学条件、塗膜要求を確認します。
1-047	断熱塗料	膜厚と設備表面温度を確認し、断熱の目的に合わせて評価します。
1-048	遠赤外線放射・高効率熱放射塗料	参考耐熱温度：600℃。波長帯、加熱対象、施工条件に応じて選定します。

ご相談にあたって

適用温度は連続・断続加熱、環境、素材、膜厚によって変わります。記載機能だけで使用条件への適合を保証するものではありません。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

EV部品用絶縁コーティング

バスバー・モーター部品用絶縁粉体塗料を、形状、加工方法、膜厚、熱条件から検討します。用途ごとの選定・個別相談項目です。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-049	バスバー・導体用高エッジカバークーティング粉体塗料	バスバー角部の実膜厚、耐電圧、塗装方法を確認します。
1-050	導体一次絶縁用高エッジカバークーティング粉体塗料	一次絶縁用途とエッジカバークーティング性を確認します。最新仕様と供給可否を個別に検討します。
1-051	導体間浸透用高耐熱絶縁粉体塗料	高耐熱性と含浸性の要求に対し、対象導体と硬化条件を確認します。
1-052	平角線モーターコイルエンド絶縁回復用粉体塗料	溶接部形状、予熱、焼付、膜厚を確認し、実部品で絶縁回復を評価します。
1-053	曲げ加工対応バスバー絶縁粉体塗料	曲げ半径、膜厚、加工順序を実部品で評価します。仕様と供給可否は個別確認となります。
1-054	高耐熱バスバー絶縁粉体塗料	必要な耐熱性と使用条件を確認します。仕様と供給可否は個別確認となります。
1-055	厚膜用熱伝導絶縁粉体塗料	参考推奨膜厚：200-500 μm。実部品で熱経路と絶縁性を評価します。
1-056	薄膜用熱伝導絶縁粉体塗料	参考推奨膜厚：40-200 μm。薄膜での絶縁性と放熱条件を評価します。

ご相談にあたって

絶縁破壊強さ、耐熱性、ガラス転移温度、焼付温度は異なる指標です。最新仕様と供給可否を確認し、実部品で評価します。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

前処理・化成処理薬剤

脱脂、表面調整、化成処理、一時防錆を工程に合わせて組み合わせます。りんフリー化も素材と工程全体で評価します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-057	ジルコニウム系化成処理剤	りんフリー化成処理を検討します。ふっ素使用の有無は個別に確認します。
1-058	りん酸塩処理代替の塗装前処理剤	りん・ふっ素フリー処理を検討します。処理後の水洗は不要でも乾燥が必要となる条件を確認します。
1-059	有機系一時防錆剤	保管中・工程間の一時防錆用。成分の不使用要求と後工程への適合性を確認します。
1-060	鉄鋼部材用油分・汚れ除去剤	処理方法、油種、温度、処理量、浴管理条件を確認します。
1-061	アルミ・軽金属用脱脂剤	アルミなどの素材への影響と後工程への適合性を評価します。
1-062	脱脂工程用洗浄剤・助剤	洗浄対象、付着油、使用方法、作業条件に応じて選定します。
1-063	酸性除錆・表面洗浄剤	酸種、素材への影響、後工程を確認します。りん酸系を含む場合があります。
1-064	アルミ・銅などの表面洗浄剤	アルミ、銅などの素材、汚れ、表面処理条件に応じて選定します。
1-065	りん酸亜鉛処理前の表面調整剤	りん酸亜鉛工程前の表面調整用。浴と工程への適合性を確認します。
1-066	塗装下地用の従来型化成処理剤	既設ラインの検討や方式比較に使用します。りんを使用する工程です。

ご相談にあたって

りん酸不使用、りんフリー、ふっ素フリーは同義ではありません。成分と各工程条件を確認し、りんフリー化では前後工程も評価します。



サービスイメージ

01 Paint Voyager

亜鉛めっき補修・防錆

鉄鋼防錆、亜鉛めっき補修用のジンクリッチ塗料と関連材料。外観、表面状態、必要膜厚に応じて選定します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
1-067	高亜鉛末含有塗料・有機ジンクリッチ塗料	鉄鋼防錆・亜鉛めっき補修に対する素地調整、膜厚、荷姿を確認します。
1-068	シルバー仕上げ有機ジンクリッチ塗料	銀色の外観、下塗りとの適合性、必要膜厚を確認します。
1-069	1液特殊エポキシ系ジンクリッチ塗料	上塗りを行う場合は、適切な弱溶剤系塗料との適合性を確認します。
1-070	ジンクリッチ塗料用専用希釈剤	塗料仕様と希釈条件に応じて指定の専用希釈剤を選定します。
1-071	特殊エポキシ系ジンクリッチ塗料用専用希釈剤	使用する特殊エポキシ系ジンクリッチ塗料に適合する専用希釈剤を選定します。
1-072	厚膜形有機ジンクリッチ塗料	厚膜による防錆を検討します。施工条件と供給可否を個別に確認します。
1-073	メタリック仕上げ有機ジンクリッチ塗料	金属光沢と防錆性を検討します。仕様と供給可否を個別に確認します。
1-074	水系有機ジンクリッチ塗料	液体成分と粉体を混合する仕様です。施工条件と供給可否を個別に確認します。
1-075	成分・環境要求を考慮したジンクリッチ防錆塗料	成分要求とSDSを確認します。仕様と供給可否は個別確認となります。
1-076	亜鉛合金めっき補修用ジンクリッチ塗料	亜鉛、アルミ、マグネシウムを含む塗料です。補修対象のめっきと供給可否を確認します。

ご相談にあたって

製品ごとに適合溶剤、素地調整、膜厚、上塗り条件を確認します。缶・スプレーの荷姿と供給条件は個別に相談します。

02 Paint Optimizer / 03 Color Balue

自社ブランド塗料

Paint OptimizerとColor Balueの塗料をサービス別に紹介します。C BALUE F・Uは現在の主力製品です。素材、仕上がり、塗装工程をご相談ください。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
2-001	C TOP ポリウレタン樹脂塗料	液数、硬化剤、塗装条件をTDSで確認します。
2-002	C TIGHT 2液エポキシプライマー	素地調整、配合比、上塗りとの適合性を確認します。
2-003	C KID アルキド樹脂塗料	乾燥条件と被塗物を確認します。
2-004	C NICE アクリルラッカー塗料	素材、溶剤、乾燥条件を確認します。
3-001	C BALUE A アクリル焼付塗料	被塗物の実温度と保持時間を確認します。
3-002	C BALUE M アミノアルキド樹脂塗料	焼付条件と使用シンナーを確認します。
3-003	C BALUE F 1液ふっ素樹脂焼付塗料	主力製品。素材、焼付条件、耐候性要求を確認します。
3-004	C BALUE U 1液ポリウレタン焼付塗料	主力製品。素材、焼付条件、必要な塗膜性能を確認します。

ご相談にあたって

選定製品の資料で配合比、硬化、溶剤、塗り重ねを確認します。自社ブランド名は製造会社を示すものではありません。



サービスイメージ

02 Paint Optimizer

Paint Optimizer Powder ・ 基本分類

樹脂系、硬化方式、外観から粉体塗料を選定する分類です。素材、使用環境、焼付条件に合う仕様を検討します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
2-005	エポキシ粉体塗料	用途要求と耐候性を各製品の技術資料で確認します。
2-006	ハイブリッド粉体塗料	樹脂の組合せと用途を個別のTDSで確認します。
2-007	ポリエステル粉体塗料	屋外用途は耐候性等級と使用実績を確認します。
2-008	アクリル粉体塗料	素材、塗膜性能、焼付条件を確認します。
2-009	ポリウレタン粉体塗料	硬化条件と用途を個別に確認します。
2-010	耐熱用途向け粉体塗料群	耐熱性、使用温度、樹脂系、焼付条件を仕様ごとに確認します。
2-011	TGIC使用・不使用の粉体塗料	TGIC使用・不使用などの成分要求に応じて仕様を確認します。
2-012	特殊効果粉体塗料・仕上りの個別相談	ご希望の外観・効果をお知らせください。仕上りの定義と製品仕様を個別に確認します。
2-013	平滑・細目・粗目の仕上がり分類	表面模様、焼付条件、フロー性を仕様ごとに確認します。
2-014	シルバーメタリック・マイカ効果	顔料の配合方法、ボンディング仕様を確認し、目標外観に合わせて選定します。

ご相談にあたって

分類は選定・相談のためのものです。各製品の性能、焼付条件、現在の供給範囲は相談時に確認します。

02 Paint Optimizer



サービスイメージ

Paint Optimizer Powder・機能と意匠

清掃性、耐候性、加飾、絶縁などの目的から粉体塗料を検討します。必要機能と外観を見本板または実部品で確認します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
2-015	衛生・ヘルスケア用途向け粉体塗料群	抗菌性などの具体的機能には試験条件と根拠資料が必要です。
2-016	清掃性を補助する粉体塗料群	汚れの種類と清掃条件を確認します。
2-017	熱転写加飾用粉体塗料群	転写フィルム、温度、意匠再現性を確認します。
2-018	クリヤー仕上げ粉体塗料群	下地色や意匠との組合せを確認します。
2-019	高耐候性要求向け粉体塗料群	試験規格、性能等級、対象品番を確認します。
2-020	粉体塗料の特殊機能・フロー性に関する個別相談	必要な機能とフロー性をお知らせください。具体的な仕様と供給可否から個別に検討します。
2-021	特殊意匠粉体塗料群	色、光沢、模様を見本板で確認します。
2-022	粉体プライマー	素材、前処理、上塗りとの適合性を確認します。
2-023	ボンディング処理粉体塗料群	メタリック外観、回収粉の使用、色差を確認します。
2-024	耐熱粉体塗料群	連続・短時間温度と変色を確認します。
2-025	絶縁粉体塗料・融着エポキシ（FBE）群	異なる用途を一括りにせず、必要性能と具体的な品番を照合します。
2-026	塗装後加工用粉体塗料群	加工条件、塗膜割れ、密着性を評価します。

ご相談にあたって

機能名は個別製品の性能保証ではありません。提案前に試験条件、要求水準、仕様、供給可否を確認します。



サービスイメージ

03 Color Balue

C BALUEシリーズ・選定支援

目標色と仕上りをすり合わせ、焼付塗料と塗装条件を選定します。自社ブランドの一覧は18ページをご覧ください。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
3-005	色・仕上がり要求の明確化 目標色、光沢、外観、使用環境の確認	標準見本と許容範囲をお客様と合意します。
3-006	C BALUEシリーズ選定支援 Color Balueの焼付塗料の選定	18ページのColor Balue欄に掲載した塗料をご覧ください。
3-007	見本板・実部品での評価 色、外観、膜厚、硬化条件の照合	合意した試験条件と承認見本に基づいて評価します。
3-008	塗装条件の整合 希釈・吹付け・焼付けの組合せ確認	Thinner StreamerとCoat Systemizerを連携させます。
3-009	再現性の確認 見本と量産の違いを把握するための記録	塗料ロット、膜厚、被塗物温度、時間などの条件を確認します。

ご相談にあたって

目標色、許容色差、見本、試験方法、希望時期をご相談ください。評価内容と対応範囲を確認して進めます。



サービスイメージ

04 Thinner Streamer

自社ブランド関連溶剤・相談

塗料と作業条件の適合を検討する関連溶剤です。開発・選定の相談対象であり、仕様確定品や在庫品を示すものではありません。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
4-001	C BALUE ME Thinner メラミン焼付塗料用シンナー	対応する塗料品番と推奨希釈条件を確認します。
4-002	C BALUE AE Thinner アクリル焼付塗料用シンナー	焼付塗料との適合性を確認し、汎用シンナーと同一視しないでください。
4-003	C BALUE Primer Thinner エポキシプライマー用シンナー	C TIGHTとの適合性を含め、塗料メーカーの指定を確認します。
4-004	C STREAM-F Thinner 乾燥を速める方向に調整するシンナー	実際の蒸発特性と添加可能範囲を確認します。
4-005	C STREAM-L Thinner 乾燥を遅める方向に調整するシンナー	温湿度、溶解性、外観を実機で評価します。
4-006	C KID Q Thinner アルキド塗料用速乾形シンナー	対応塗料と標準形との差を確認します。

ご相談にあたって

塗料、配合比、乾燥条件、使用量を確認し、仕様と供給を個別に検討します。指定溶剤の混合・置換は適合性評価後に判断します。



サービスイメージ

04 Thinner Streamer

用途別溶剤・洗浄剤

希釈、乾燥調整、設備・部品洗浄を目的別に検討します。塗料と洗浄対象への適合性を確認し、適切な溶剤を提案します。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
4-007	ラッカー用希釈剤	ラッカーとの適合性、乾燥特性、作業条件に応じて仕様を選定します。
4-008	塗料洗浄用混合溶剤	塗料や付着物の洗浄用。塗料希釈とは区別して使用目的を確認します。
4-009	木工仕上げ・洗浄・白化抑制などの用途別溶剤	木工仕上げ、洗浄、白化抑制などの目的と使用塗料に応じて選定します。
4-010	焼付塗料の希釈・工程調整用溶剤	塗料種、焼付条件、乾燥速度、外観に応じて選定します。
4-011	1液・2液塗料用希釈剤	硬化剤への影響、水分量、溶解性、塗料の指定条件を評価します。
4-012	PE・PP・ABS・PCなどの塗装用溶剤	PE、PP、ABS、PCなどの素材と塗料ごとに、素材侵食、白化、割れを評価します。
4-013	標準・強溶解・速乾などの希釈剤	塗料種、溶解性、乾燥速度、作業条件に応じて個別に選定します。

ご相談にあたって

仕様、SDS、荷姿、供給条件を個別に確認します。希釈剤と洗浄剤はそれぞれの目的に応じて選定します。



サービスイメージ

04 Thinner Streamer

用途別溶剤・洗浄剤

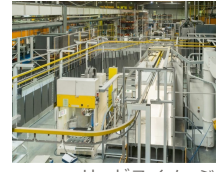
希釈、乾燥調整、設備・部品洗浄を目的別に検討します。塗料と洗浄対象への適合性を確認し、適切な溶剤を提案します。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
4-014	金属部品用脱脂・洗浄剤	油種、洗浄設備、速乾・遅乾の要求、乾燥条件を確認します。
4-015	樹脂脱脂・フラックス洗浄・レンズ洗浄など	素材損傷、残渣、必要清浄度に応じて、樹脂用と精密部品用の用途を区別します。
4-016	工業用炭化水素系溶剤	トルエン、キシレン、芳香族混合溶剤を使用目的とSDSに基づいて確認します。
4-017	工業用アルコール・エステル・ケトン系溶剤	用途に応じて各系統の原料を確認し、塗料・素材との適合性を評価します。
4-018	個別設計の希釈剤・洗浄剤	用途、必要量、開発条件、供給可否についてご相談ください。

ご相談にあたって

仕様、SDS、荷姿、供給条件を個別に確認します。希釈剤と洗浄剤はそれぞれの目的に応じて選定します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

前処理・塗装・搬送・乾燥

前処理から塗装、搬送、乾燥までの工程に応じた設備相談。部品、現場寸法、生産能力から必要な構成を検討します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-001	浸漬式・連続式・密閉室式洗浄設備 脱脂・洗浄などの前処理	素材、油種、薬剤、工程数、処理量を確認します。
5-002	湿式・乾式液体塗装ブース 塗料ミスト捕集設備	給排気、水処理またはフィルター、保守性を確認します。
5-003	手動・自動塗装ライン 手作業と自動工程の組合せ	作業姿勢、生産タクト、色替え、補修工程を検討します。
5-004	粉体塗装ライン・ブース 粉体の供給・塗装・回収・硬化	塗料と供給・塗装・回収・硬化設備との適合性を確認します。
5-005	電着塗装（ED）設備	前処理、槽、電源、ろ過・水洗、焼付を個別に設計します。
5-006	オーバーヘッド・トロリー・フリーフロー搬送 吊り下げ・台車搬送	部品荷重、滞留・停止、工程間の受渡しを確認します。
5-007	フロア・ローラー・Iビーム搬送 床上・吊り下げによる工程間搬送	荷重、部品姿勢、搬送経路、清掃性を確認します。
5-008	スピンドル・ターンテーブル設備 部品の回転・割出しによる塗装	小物・樹脂部品の形状、治具、塗装姿勢に応じて検討します。
5-009	連続炉・バッチ炉 塗膜の乾燥・焼付硬化	被塗物温度、保持時間、熱源、温度分布を確認します。

ご相談にあたって

相談・設計の分類です。装置本体、搬入、据付、付帯工事、制御、保守、供給可否を案件ごとに確認します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

樹脂塗装・UV硬化

樹脂部品の外観と耐熱性に応じて、塗装、搬送、乾燥、UV硬化を検討します。単体UV照射装置も条件を確認し、対応範囲を相談します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-010	樹脂部品塗装ライン 塗装・乾燥・搬送の組合せ	樹脂種、形状、耐熱限界、外観、生産量を確認します。
5-011	除塵・除電工程 付着ほこり・帯電への対策	現場条件に応じて方式、設置位置、清浄度を選定します。
5-012	塗装ブース・給気環境 樹脂部品塗装時の作業環境	前掲のブース分類を適用し、風量、清浄度、温湿度を確認します。
5-013	回転搬送・塗装治具 部品の保持・回転・姿勢調整	スピンドルも適用候補です。陰になる部分と治具跡を確認します。
5-014	UV塗装ライン 塗布から紫外線硬化まで	塗料仕様に応じて必要な乾燥、搬送、UV照射を設計します。
5-015	単体UV照射装置 紫外線による塗膜硬化	単体装置も相談可能です。光源、塗料、照射範囲、設置条件から仕様を確認します。
5-016	UV照射前の乾燥・フラッシュオフ 塗料仕様に応じた乾燥・揮発待ち	塗料仕様と工程評価に基づいて、照射前乾燥の要否を判断します。
5-017	照射条件の管理・評価 UV硬化工程の設定・確認	波長、照度、積算光量、距離、搬送速度を照合します。
5-018	遮光・排気・インターロック UV工程の保護・安全機構	光源、塗料、設置場所に応じて対策と責任範囲を定めます。

ご相談にあたって

UV硬化と熱乾燥は異なる工程です。硬化条件、素材への熱影響、密着性、外観を実部品で評価します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

付帯設備・制御・保守

ライン全体の給排気、環境処理、制御、据付、保守を検討します。既設設備への接続・改造もご相談いただけます。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-019	クリーン給気・塗装室空調設備	温湿度、清浄度、給排気の圧力バランスを確認します。
5-020	サイクロン回収・集塵設備 粉体の回収・粉塵の捕集	回収物、風量、フィルター、回収粉の使用方法を確認します。
5-021	排ガス処理設備	ガス成分、濃度、流量に応じて処理方式を選定します。
5-022	工程排水処理設備	薬剤、排水性状、処理能力、運転管理を確認します。
5-023	制御盤・PLC・設備インターロック 塗装・搬送・乾燥の制御	運転条件、インターロック、現場接続を確認します。
5-024	設備部品・治具の個別製作	図面、材質、精度、検査範囲を確認します。
5-025	据付・保守・改造 設置、点検、調整、消耗品交換	施工者、停止期間、部品供給、保守対応力を確認します。
5-026	熱処理・焼鈍設備 塗装乾燥工程以外の加熱	塗膜硬化とは異なる熱処理用。要求と対応可否を個別に検討します。
5-027	冷却水・純水供給システム・設計相談	冷却水・純水のニーズを起点とする相談項目です。仕様と対応可否は個別に確認します。

ご相談にあたって

各項目は相談対象です。施工、現場接続、安全、保証、保守の責任を確認します。冷却水・純水は需要と対応可否から個別に検討します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

湿式ベンチュリーブース・標準形

水で塗料ミストを捕集する湿式ブースです。幅ごとの選択肢を掲載。標準形は排気の吸引力で水を吸い上げ、水ポンプを使用しません。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-028	湿式ベンチュリーブース 幅 1,500 mm	被塗物の幅に加え、作業動線、給排気、ダクト、保守スペースを確認します。
5-029	湿式ベンチュリーブース 幅 2,000 mm	被塗物の幅に加え、作業動線、給排気、ダクト、保守スペースを確認します。
5-030	湿式ベンチュリーブース 幅 2,500 mm	被塗物の幅に加え、作業動線、給排気、ダクト、保守スペースを確認します。
5-031	湿式ベンチュリーブース 幅 3,000 mm	被塗物の幅に加え、作業動線、給排気、ダクト、保守スペースを確認します。
5-032	湿式ベンチュリーブース 幅 3,500 mm	被塗物の幅に加え、作業動線、給排気、ダクト、保守スペースを確認します。
5-033	湿式ベンチュリーブース 幅 4,000 mm	被塗物の幅に加え、作業動線、給排気、ダクト、保守スペースを確認します。
5-034	湿式ベンチュリーブース 幅 5,000 mm	被塗物の幅に加え、作業動線、給排気、ダクト、保守スペースを確認します。

ご相談にあたって

参考仕様：奥行と標準天井高さは各2,000 mm。寸法、全高、電源は正式図面で確認します。現地電圧・相数・周波数と供給可否は個別確認です。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

湿式ブース・構成の選択肢

部品と作業環境に応じて、照明、高天井、ピット、給排気、水幕板を検討します。必要幅と現場条件から構成を確認します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-035	LED照明付きベンチュリーブース	照明、作業範囲、色の検査条件を照合します。
5-036	安全増防爆仕様のベンチュリーブース	適用場所、範囲、現地要求を確認します。
5-037	高天井ベンチュリーブース	天井高さ2,500 mm。被塗物とハンガーの高さを確認します。
5-038	ピット式ベンチュリーブース	ピット工事、清掃・保守動線、設置寸法を確認します。
5-039	給排気一体型エアバランスブース	給排気バランスと工場条件を確認します。
5-040	水幕板付きベンチュリーブース	参考幅：1,500 / 2,000 / 2,500 / 3,000 mm。水中ポンプ付き構成と電源を確認します。
5-041	水幕板・LED照明付きブース	水幕と照明を組み合わせた構成です。
5-042	水幕板付き安全増防爆ブース	防爆の適用範囲と仕様を個別に確認します。
5-043	水幕板付き高天井ブース	天井高さ2,500 mm。水幕の管理条件も確認します。

ご相談にあたって

防爆範囲は電気機器、溶剤、設置環境から確認します。循環水、スラッジ、清掃、排水、付帯工事も検討します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

コンプレッサー・スクロールとレシプロ

空気量、圧力、環境からオイルフリー・給油式と設置形式を選定します。複数機器の同時使用条件も確認します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-044	オイルフリースクロールコンプレッサー 防音パッケージ形	代表出力1.5 / 2.2 / 3.7 kW。圧力とドライヤーの有無を照合します。
5-045	オイルフリースクロールコンプレッサー 複数圧縮機搭載パッケージ形	複数圧縮機の構成、空気需要、制御方式、設置条件に応じて仕様を確認します。
5-046	低騒音重視のオイルフリースクロールコンプレッサー	1.5 / 2.2 kW。空気需要と設置環境を確認します。
5-047	オイルフリースクロールコンプレッサー タンクマウント形	1.5 / 2.2 / 3.7 kW。移動、設置、タンク条件を確認します。
5-048	オイルフリーレシプロコンプレッサー タンクマウント形	代表出力1.5 / 3.7 / 7.5 kW。圧力と運転周期を確認します。
5-049	小形オイルフリーレシプロコンプレッサー	0.2 / 0.4 kW。少量の空気需要に対する候補です。
5-050	オイルフリーレシプロコンプレッサー パッケージ形	代表出力1.5 / 3.7 / 7.5 kW。圧力、除湿機能、設置条件を確認します。
5-051	給油式レシプロコンプレッサー タンクマウント形	代表出力1.5 / 3.7 / 7.5 kW。潤滑管理と空気処理を確認します。
5-052	給油式レシプロコンプレッサー パッケージ形	代表出力1.5 / 3.7 / 7.5 kW。圧力、運転条件、設置場所の放熱を確認します。

ご相談にあたって

出力は候補の代表値です。現地電源、使用点の空気品質、除湿、ろ過、保守を確認して仕様を確定します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

コンプレッサー・スクリューと空気処理

工場の空気需要に応じてスクリュー、クロー、昇圧、除湿、タンクを検討します。実際の運転条件から定速・インバーターを選定します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-053	給油式スクリューコンプレッサー インバーター・タンクマウント形	7.5 / 11 / 15 kW。タンク一体構成と設置寸法を確認します。
5-054	給油式スクリューコンプレッサー 定速パッケージ形	代表出力15 / 22 / 37 kW。圧力、除湿機能、設置条件を確認します。
5-055	給油式スクリューコンプレッサー インバーターパッケージ形	15 / 22 / 37 kW。空気需要の変動と制御範囲を確認します。
5-056	オイルフリークローコンプレッサー パッケージ形	代表出力15 / 30 / 45 kW。冷却と設置環境を確認します。
5-057	オイルフリークローコンプレッサー インバーター形	22 / 37 kW。需要変動、運転圧力、電源を確認します。
5-058	圧縮空気ブースター	給油・オイルフリーの区別、入口条件、必要出口圧力を確認します。
5-059	冷凍式エアドライヤー	圧縮空気の除湿用。入口温度、流量、圧力、必要露点を確認します。
5-060	エアレシーバー・圧縮空気タンク	容量、使用圧力、材質、ドレン排出、設置条件を確認します。
5-061	エンジン駆動可搬式レシプロコンプレッサー	給油・オイルフリー、動力源、作業場所ごとに仕様と供給可否を確認します。

ご相談にあたって

流量・圧力に加え、配管圧損、同時運転、増設計画、保守を確認します。省エネ効果と能力は使用条件によります。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

静電粉体塗装・粉体供給

手動・自動塗装、色替え、定量供給、粉体搬送状態の確認用機器。塗装機、ガン、制御、供給の組合せを検討します。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-062	ホッパー供給式手動静電粉体塗装機セット	ガン数、ホッパー構成、被塗物、必要塗装能力を確認します。
5-063	箱供給式手動静電粉体塗装機セット	色替え、多品種少量生産に対してガン数と供給構成を検討します。
5-064	攪拌ホッパー付き手動粉体塗装機セット	流動層式とは供給方式が異なります。
5-065	カップスタンド式ラボ用粉体塗装機セット	試験・塗装見本の作製用です。
5-066	手動静電粉体塗装ガン	ガン単体の相談項目。供給装置とコントローラーとの適合性を確認します。
5-067	自動コロナ帯電粉体ガン	清掃性、取付方法、被塗物に応じて仕様を選定します。
5-068	小形自動コロナ粉体ガン	小形自動ガンの相談項目。正式仕様、接続適合性、供給可否は個別に確認します。

ご相談にあたって

適合構成は機器によって異なります。ガン、制御、供給・回収、使用粉体、供給可否を個別に確認します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

静電粉体塗装・粉体供給

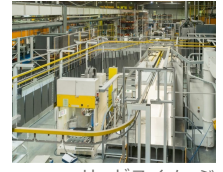
手動・自動塗装、色替え、定量供給、粉体搬送状態の確認用機器。塗装機、ガン、制御、供給の組合せを検討します。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-069	粉体塗装用デジタルコントローラー	ガン・供給系に適合する構成を確認します。
5-070	自動粉体ガンユニット・定量供給仕様	標準供給・定量供給を区別し、必要供給量と制御を確認します。
5-071	粉体の定量供給・制御装置	静電容量センサー制御、スクリーン供給などから条件に合う方式を選定します。
5-072	色替え対応粉体ブース	色替え頻度、設置面積、移動・モジュール分割の可否から構成を検討します。
5-073	粉体搬送の詰まり検知用マイクロ波センサー	ホースに取り付けます。粉体種と搬送条件に応じた確認が必要です。

ご相談にあたって

適合構成は機器によって異なります。ガン、制御、供給・回収、使用粉体、供給可否を個別に確認します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

液体塗装ガン・静電塗装装置

手動・自動のエア、エアレス、静電、回転霧化の選択肢です。塗料種、形状、工程の自動化条件から検討します。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-074	手動エアスプレーガン	圧送・吸上げ・重力式があります。ノズルは仕様によって異なります。
5-075	手動高圧エアレスガン	手動の高圧エアレス方式。塗料、圧力、ノズル、ホース構成を確認します。
5-076	自動スプレーガンシリーズ	シリーズ名です。個別型式の霧化方式と取付方法を確認します。
5-077	自動エアレスガン	循環・非循環の供給方式と自動機への取付条件を確認します。
5-078	着脱ヘッド式自動エアスプレーガン	自動機・ロボット用。取付構成を確認します。
5-079	低圧自動エアスプレーガン	水系・溶剤系塗料と自動機への取付条件を確認します。

ご相談にあたって

水系・溶剤系、帯電、圧力、取付方法を各タイプで確認します。装置一式とガン単体では必要構成が異なります。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

液体塗装ガン・静電塗装装置

手動・自動のエア、エアレス、静電、回転霧化の選択肢です。塗料種、形状、工程の自動化条件から検討します。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-080	溶剤塗料用手動静電エアスプレーガン	エア駆動発電機を内蔵。塗料とガン仕様の適合性を確認します。
5-081	水系塗料用直接帯電式手動静電ガン	水系塗料を直接帯電させます。塗料供給と絶縁構成を確認します。
5-082	水系塗料用間接帯電式手動静電ガン	水系塗料を間接帯電させます。供給系と塗装条件を確認します。
5-083	自動静電エアスプレーガン	自動機用。塗料、取付、制御・供給系との適合性を確認します。
5-084	回転ベル式静電塗装装置	回転霧化方式。被塗物、取付、塗料供給、制御構成を確認します。
5-085	回転ベル式静電塗装装置	回転霧化方式の候補。各タイプの構成と適用条件を確認します。

ご相談にあたって

水系・溶剤系、帯電、圧力、取付方法を各タイプで確認します。装置一式とガン単体では必要構成が異なります。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

塗料供給・調圧・混合

供給、循環、攪拌、調圧、色替え、定量、混合を支える機器です。塗料特性と工程条件から必要構成を検討します。

1 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-086	エア駆動ダブルダイヤフラム塗料供給ポンプ	ガンへの供給用。ポンプ単体・供給セットの必要範囲を確認します。
5-087	エア駆動ダイヤフラム塗料供給ポンプ	圧力比と接液材質を個別に確認します。
5-088	塗料供給・循環用エア駆動水平ピストンポンプ	水平ピストン方式。流量、圧力、循環条件、接液材質を確認します。
5-089	材料供給用ダイヤフラムポンプ	塗料・接着剤などの供給用。粘度と材質適合性を確認します。
5-090	塗料圧送タンク	容量、攪拌機構、圧力仕様を個別に選定します。
5-091	ペール缶・ドラム缶などの塗料攪拌機	ロータリーピストン式エアモーターのタイプを含みます。

ご相談にあたって

接液材質、粘度、流量、圧力、清掃性、ガン・制御装置との適合性を確認して選定します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

塗料供給・調圧・混合

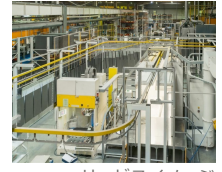
供給、循環、撈拌、調圧、色替え、定量、混合を支える機器です。塗料特性と工程条件から必要構成を検討します。

2 / 2

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-092	塗装用空気圧レギュレーター	圧力、空気流量、接続、使用機器に応じて仕様を選定します。
5-093	塗料圧カレギュレーター	塗料圧力の調整用。接液材質、設定圧力、使用機器を確認します。
5-094	塗料循環用低せん断背圧レギュレーター	循環配管の背圧、塗料特性、接液材質に応じて選定します。
5-095	色替えバルブ・塗料切替システム	色数、配管、洗浄回路に応じて構成します。
5-096	電子式塗料定量・混合・流量制御システム	ギヤポンプ方式。1K・2K・3K対応は構成によります。
5-097	ガン・塗料供給設備の交換・保守部品	既設機の銘板、製造番号、部品図から適合部品と供給可否を照合します。

ご相談にあたって

接液材質、粘度、流量、圧力、清掃性、ガン・制御装置との適合性を確認して選定します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

スプレーガン・静電塗装の選択肢

一般塗装、自動車補修、自動塗装、液体・粉体静電塗装の機器。作業方法と仕上がりに応じて選定します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-098	小形・大形手動スプレーガン	一般塗装用。小形・大形と低圧方式の可否を選定します。
5-099	小形・大形センターカップガン	重力式。カップとノズルを確認します。
5-100	大形圧送式手動スプレーガン	ストレート・V溝ノズルと必要塗料流量を確認します。
5-101	汎用・低圧手動スプレーガン	汎用・低圧方式、被塗物、ノズル、必要空気量に応じて選定します。
5-102	自動車補修用手動スプレーガン	補修塗料と必要外観に応じたノズル・カップ構成を確認します。
5-103	自動機取付用スプレーガン	簡易・汎用・高性能形から用途に応じて型式を選定します。
5-104	エア発電式手動液体静電ガン	外部静電コントローラーは不要です。
5-105	液体塗料用手動静電ガン	一般溶剤用と水系・低抵抗用を区別し、帯電・供給条件を確認します。
5-106	液体塗料用自動静電ガン	ロボット・レシプロケーターへの取付方法に応じて選定します。
5-107	手動静電粉体ガン	手動粉体塗装用。液体塗料用ガンとは異なります。
5-108	自動静電粉体ガン	自動機・自動ライン用です。
5-109	静電粉体塗装機セット	ガン単体ではなく、制御と粉体供給を含む構成です。

ご相談にあたって

手動・自動、液体・粉体を区別し、ノズル、カップ、供給機器、電源、制御を確認します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

塗料供給機器・補助機器・部品

ポンプ、タンク、攪拌機、塗装ユニット、部品を掲載。更新・保守では使用中の機器情報から適合性を確認します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-110	単体ダイアフラム塗料供給ポンプ	ポンプ単体の分類。接液材質、流量、圧力、接続条件を確認します。
5-111	ダイアフラム塗料供給ユニット	ポンプと供給機器の組合せ。構成範囲を確認します。
5-112	ベローズシールポンプ	エア・電動の区別、圧力、流量、塗料接液条件を確認します。
5-113	プランジャーポンプ・塗料供給ユニット	単体ポンプと供給ユニットを区別し、必要構成を確認します。
5-114	ダイアフラムポンプの交換・保守部品	ポンプの完全型式、製造番号、部品図から適合性と供給可否を確認します。
5-115	重力式・吸上げ式塗料カップ	ガン、取付ねじ、材質を照合します。
5-116	塗料供給用圧力タンク	水系塗料への対応、攪拌機構、容量を確認します。
5-117	混合・沈降防止用攪拌機	ラジアルピストン式などがあります。容器と塗料に応じて選定します。
5-118	高塗料圧力式エアレス塗装機	ポンプ、ガン、ホース、ノズルを組合せで管理します。
5-119	エア・エアレス複合塗装機	エア霧化とエアレスを組み合わせます。機器構成と塗料適合性を確認します。

ご相談にあたって

部品については銘板写真、製造番号、図面をご提供ください。適合性、供給可否、作業範囲を確認してご案内します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

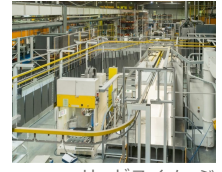
自動化・関連ユーティリティ

塗装ロボット、工程統合ライン、局所排気、乾燥、真空、窒素供給の相談。工程と必要能力に応じて構成を検討します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-120	塗装ロボットシステム	塗装工程に必要な機器を組み合わせます。被塗物と動作範囲を確認します。
5-121	モジュール式塗装ライン	各工程のモジュール化とロボットによる工程間搬送を検討します。
5-122	発生源捕集・局所排気設備	発生源と作業者の位置に応じて、設置位置と風量を検討します。
5-123	塗装後乾燥・硬化設備	塗料の硬化条件、部品材質、処理量、熱源を確認します。
5-124	真空ポンプ・関連真空機器	真空度、排気速度、吸引する媒体に応じて選定します。
5-125	窒素ガス発生・供給装置	必要な純度、流量、供給圧力を確認します。

ご相談にあたって

選定・設計相談の対象です。仕様、接続、付帯工事、供給・対応可否を個別に確認します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

給気・排気フィルター

塗装環境の除塵、塗料ミスト捕集用フィルターです。給気・排気の目的を区別し、取付寸法と塗料・粉塵条件から選定します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-126	キューブ形乾式塗料ミスト捕集フィルター	排気中の塗料ミスト捕集用。取付寸法、風量、交換条件を確認します。
5-127	特殊難燃処理紙製排気フィルター	塗料ミスト捕集用です。
5-128	植物繊維製排気フィルター	使用塗料に応じて厚さを選定します。
5-129	加工紙・不織布複合排気フィルター	取付寸法と交換条件を確認します。
5-130	グラスウール製パネル形排気フィルター	塗料ミスト捕集用です。
5-131	不織布製ロール形排気補助フィルター	主フィルター前段の予備ろ過用です。
5-132	グラスウール製ロール形排気フィルター	ロール仕様。寸法、取付、交換条件を確認します。
5-133	給気用プレフィルター	主に粗いほこりを捕集します。
5-134	給気用除塵フィルター	給気除塵・天井給気の用途に応じて、ろ過効率と取付方法を確認します。
5-135	3連袋形給気フィルター	袋構造に適した取付枠と奥行きを確認します。
5-136	給気・排気用不織布パネルフィルター	排気系では一次フィルター後、給気系では吸込口に使用します。
5-137	給気・排気用2連袋形フィルター	用途に応じて選定し、すべての条件で共用できるとはみません。

ご相談にあたって

風量、圧損、捕集対象、取付、交換頻度を確認します。適合確認なしに給気・排気フィルターを共用しないでください。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

循環水・工程管理

湿式ブースの循環水管理、塗料スラッジ処理、関連設備の相談。塗料、水、回収方式、運転管理から検討します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-138	アルカリ性粉末塗料凝集剤	ブース循環水用。浮上回収方式です。
5-139	中アルカリ性塗料凝集剤	ブース循環水用。浮上回収方式です。
5-140	酸性塗料凝集剤	分離・回収方式から検討します。一般塗料・UV塗料への適用を仕様ごとに確認します。
5-141	中性塗料凝集剤	一般塗料・UV塗料用。浮上・分離回収方式です。
5-142	水洗ブース循環水用消泡剤	循環水の泡を抑える薬剤。水質と添加条件を確認します。
5-143	水洗ブース循環水用消臭・殺菌剤	弱酸性。薬剤の適合性と添加条件を確認します。
5-144	微生物による塗料スラッジ処理システム・専用資材	個別相談項目。塗料種、運転管理、処理条件、供給可否を確認します。
5-145	IoT塗装設備管理システム	個別相談項目。接続、収集データ、必要機器、供給範囲を確認します。
5-146	前処理・電着・加熱乾燥設備	個別設計相談。工程、仕様、設備構成、対応可否を確認します。
5-147	搬送・塗装区域空調・排水処理設備	個別設計相談。搬送、空調、排水の条件をそれぞれ確認します。

ご相談にあたって

循環水用薬剤であり、塗料への直接添加剤とは異なります。処理・管理システム、関連設備の仕様と対応可否は個別に確認します。



サービスイメージ

05 Coat Systemizer

自動車・大型車用塗装ブース

自動車から大型車まで、対象寸法と作業環境に応じた候補です。建屋への適合、給排気、照明、保守動線を検討します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
5-148	プッシュプル式自動車塗装ブース 経済性重視の構成	経済性を重視した構成。配置と乾燥機能の有無を仕様ごとに確認します。
5-149	標準寸法の自動車塗装ブース	標準寸法の構成。建屋、給排気、ピット、乾燥機能の有無を確認します。
5-150	ワイド形自動車塗装ブース	広い作業空間を確保する構成。工場・車両寸法と乾燥機能の有無を確認します。
5-151	明るさ・作業空間を重視した塗装ブース	窓、照明、排気、作業空間を図面で確認します。乾燥機能は仕様によります。
5-152	トラック・バス・大型車用塗装乾燥ブース	車両寸法に応じて塗装・乾燥、給排気、建屋を検討します。

ご相談にあたって

塗装ブースと塗装乾燥ブースは機能・構成が異なります。乾燥機能、熱源、電源、現場寸法を仕様ごとに確認します。



サービスイメージ

06 Coat Visioner

可視化・データ活用

既設設備の状態や工程条件を計測・記録し、改善にデータを活用する相談です。計測点と改善目標から構成を検討します。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
6-001	設備データ収集・可視化システム	既設設備への後付けも検討できます。接続条件を確認します。
6-002	アナログ・デジタル信号収集機器	信号種、入力点数、配線、電源を確認します。
6-003	画像処理による状態読取り機器	画像処理で取得します。別構成・オプションの要否と供給範囲を確認します。
6-004	温度・湿度・圧力・流量・振動・水位・pHなどのセンサー	測定範囲、耐環境性、校正・交換方法を確認します。
6-005	メーター・表示灯読取りカメラ	実環境の照明、反射、視野、読取り精度を評価します。
6-006	履歴記録・グラフ表示・CSV出力	保存期間、データ権限、出力形式を確認します。
6-007	しきい値設定・メール通知	通知条件と宛先を設定します。監視通知は設備の安全制御を代替しません。
6-008	前処理液の状態監視・分析技術	採取、分析、校正を含め、測定対象と管理方法を個別に検討します。
6-009	塗装環境・蓄積データに基づく配合・粘度調整支援	配合・粘度調整支援の相談項目。使用データと対応範囲を個別に確認します。
6-010	受発注・購買・在庫などの業務管理システム	業務管理の個別相談。設備監視との接続と供給範囲を確認します。
6-011	AI機能・表示読取り・滴下量・生産数カウント・ロボット塗装支援	AI関連機能の相談項目。データ条件、実現方法、精度、供給範囲を確認します。

ご相談にあたって

監視、分析、配合支援、業務管理、AIは範囲・構成の個別確認が必要です。すべてが標準機能として付属するものではありません。



サービスイメージ

07 Coat Linker

日本・ベトナムの塗装企業をつなぐ

塗装の外注・協業を検討する企業間で条件と技術情報を共有します。候補先との接点づくりから試作・評価準備まで、案件ごとにご相談いただけます。

番号	製品・ソリューション・用途	選定・導入時に確認する条件
7-001	塗装案件の要件整理 外注・協業先選定に向けた条件共有	素材、部品図、要求品質、生産量、希望時期を確認します。
7-002	塗装企業のマッチング 条件に合う候補の検討・紹介	工程、設備、品質管理、所在地、受託条件を照合します。
7-003	技術条件の共有 発注側と塗装企業の認識合わせ	仕様、標準見本、評価方法、検査条件を整理します。
7-004	試作・評価への橋渡し 量産判断に向けた確認の段取り	見本、試験範囲、担当者、費用分担を合意します。
7-005	他のコアサービスとの連携 塗料・溶剤・設備・可視化の相談を接続	案件に応じて必要な支援を組み合わせます。
7-006	協業条件の整理 継続取引に向けた責任範囲の確認	契約、品質責任、納期、物流、秘密保持を個別に協議します。

ご相談にあたって

候補企業の受入可否、契約、品質責任、日程、物流、秘密保持は個別に協議します。

SOLUTION GUIDE / 課題別のご相談

課題に応じたソリューションの組合せ

塗料、溶剤、設備、可視化を組み合わせ、課題のある工程から改善を検討します。相談したいテーマの番号を担当者にお知らせください。

1 / 2

番号	相談テーマ	関連する製品・サービスと確認事項
A-001	腐食・めっき補修	防食塗料、ジंकリッチ塗料、前処理、塗装機器。素材、既存塗膜、腐食環境、期待寿命から着手します。
A-002	塗膜外観・不良率	塗料、溶剤、ガン、給気フィルター。不良見本、発生工程、温湿度、粘度、膜厚を確認します。
A-003	乾燥・硬化の安定化	焼付塗料、乾燥炉、温度計測、工程可視化。設定温度だけでなく、部品温度と時間を把握します。
A-004	色替え・粉体回収	粉体塗料、ガン、ブース、供給・回収系。色数、ロット、回収粉の使い方、清掃時間を確認します。

ご相談にあたって

相談の組合せ例です。お客様の条件を確認したうえで、仕様、対応範囲、期待効果を検討します。

SOLUTION GUIDE / 課題別のご相談

課題に応じたソリューションの組合せ

塗料、溶剤、設備、可視化を組み合わせ、課題のある工程から改善を検討します。相談したいテーマの番号を担当者にお知らせください。

2 / 2

番号	相談テーマ	関連する製品・サービスと確認事項
A-005	EV部品の絶縁	絶縁塗料、塗装設備、評価工程。電圧、膜厚、形状、放熱、密着性、耐久性を確認します。
A-006	りんフリー工程への移行	前処理薬剤、設備、浴管理。薬剤1点の置換だけでなく、素材と工程全体で評価します。
A-007	省人化・生産性向上	自動ガン、ロボット、搬送、塗料供給。タクト、段取り・切替、品質基準、導入制約を把握します。
A-008	ブース管理・清掃工数	フィルター、循環水薬剤、塗料スラッジ処理。塗料種、風量、差圧、水、保守頻度を確認します。
A-009	設備状態の可視化	監視システム、センサー、データ活用。改善指標を先に定め、必要な計測点を選びます。

ご相談にあたって

相談の組合せ例です。お客様の条件を確認したうえで、仕様、対応範囲、期待効果を検討します。

CUSTOMER SUPPORT / ご相談

ご相談から導入まで

仕様が未確定でも、課題と現状の条件からご相談を始められます。掲載番号と、お手元にある情報をお知らせください。

01 課題と目標を共有

発生している現象、改善したい品質・作業・コスト、希望時期をお知らせください。

02 素材・製品・現場の確認

素材、図面・見本、現行塗料、工程、設備寸法、生産量を確認します。

03 候補と対応範囲の提案

掲載番号をもとに、製品・設備・支援の候補と供給・対応範囲をご相談します。

04 仕様・試験・評価の相談

必要に応じて見本や実部品を確認します。評価条件、責任分担、費用を事前に相談します。

05 見積・導入条件の確認

数量、荷姿、納期、据付・施工、保証、保守、物流を確認します。

06 導入・運用へ

合意した範囲で進め、使用条件と必要な支援を確認します。

CoatureVietnamへのお問合せ

本資料をお送りしたCoatureVietnam担当者に、関心のある掲載番号、素材・製品、現行工程、希望時期をお知らせください。図面、写真、見本がある場合は、ご相談内容に合った共有方法をご案内します。

DOCUMENT INFORMATION / 資料情報

資料情報・改訂履歴

製品、技術、供給状況に応じて内容を更新します。お問合せの際は、版と掲載番号をお知らせください。

項目	内容
資料名	CoatureVietnam 製品・ソリューションガイド
原本資料番号	CTV-CAT-EXT-VN
言語	日本語・ベトナム語お客様向け資料の翻訳
原本発行日	2026年9月17日
原本の版	EXT-VN 1.4
翻訳作成日	2026年10月21日
発行・ご相談	CoatureVietnam

原本の改訂履歴

日付・版	主な改訂内容
2026/09/17 EXT-VN 1.4	Coat Systemizer、Coat Visionerの表記を統一。Thinner Streamerに地球、Coat Linkerにパズルの画像を使用。
2026/09/17 EXT-VN 1.3	Service Brochureに合わせ、斜めに重ねたオレンジの面、写真配置、読みやすい表を採用。内容・番号・順序は維持。
2026/09/17 EXT-VN 1.2	上端のオレンジ線を削除。塗料タンクの写真を公式サイトでのCoature塗料缶4個の画像に変更。
2026/09/17 EXT-VN 1.1	CoatureVietnamの公式サイトに合わせてブランド表現とイメージ画像を更新。内容・番号・順序は維持。
2026/09/17 EXT-VN 1.0	EXT-JP 1.0に対応するベトナム語初版。製品、設備、7つのコアサービスを掲載。

最新版のご確認

最新版はCoatureVietnam担当者へお問合せください。掲載番号は継続して照合できるよう管理し、削除した番号は別項目に再利用しません。

情報の追加・変更時に版と発行日を更新します。個別の提案・契約内容は、見積書、仕様書、関連資料で確認します。